



福岡医発第 356 号(総)

平成 25 年 4 月 27 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻 一 良

(公印省略)

平成 25 年度「日本対がん協会賞」及び「朝日がん大賞」の
候補者推薦について(お願い)

標記について、日本医師会長より推薦方依頼が参りました。

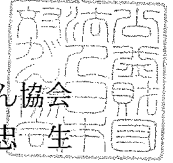
つきましては、推薦基準をご参照の上、該当される個人(団体)がありまし
たら来る 5 月 13 日(月) までに本会宛ご推薦下さいますようお願い申し上げま
す。

なお、該当のない場合もその旨ご報告下さいますよう、重ねてお願い申し上げ
ます。

日がん発第 25011 号
2013(平成 25)年 4 月 19 日

都道府県医師会会長 殿

公益財団法人 日本対がん協会
会 長 垣 添 忠 生



平成 25 年度「日本対がん協会賞」と「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

拝 啓

さて、日本対がん協会は毎年、がん征圧活動に功績のあった方々に「日本対がん協会賞」を贈ってその業績を称えてまいりました。これまで 45 回の歴史を重ね、受賞者は 210 人、119 団体になります。また、朝日新聞社の協力を得て 2001 年度に創設された「朝日がん大賞」は、第 1 回の大内憲明・東北大学大学院教授（国のマンモグラフィ検診導入に貢献）以来、第 12 回の静岡県立静岡がんセンター「がんよろず相談（相談支援センター）」（病院・研究所・疾病管理センターが一体となってがん患者や家族の支援に取り組む）まで、計 12 人、2 団体の方々が受賞されています（肩書きは受賞時）。

受賞者は、9 月 12、13 日に北海道札幌市で開かれる「がん征圧全国大会」で表彰いたします。

つきましては、貴管内でそれぞれの賞にふさわしい方々（個人・団体）がおられましたらご推薦いただきたく、お便りを差し上げました。ご多用のところ恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本対がん協会賞は、一次予防、二次予防を含め、がん征圧活動に永年の功績をあげられた医師、保健師、看護師、その他一般の個人・団体を対象といたします（受賞者には表彰盾と記念品を贈呈）。

朝日がん大賞は、「がん予防」全般を対象としながら、がん医療・研究分野、画期的な医療機器の開発、患者・治療者の活動も視野に入れた幅広いものとします。活動期間は問わず、第一線で活躍している個人・団体を対象とします（受賞者には表彰盾と副賞 100 万円を贈呈）。

両賞とも、各界のご推薦をもとに「日本対がん協会賞選考委員会」（委員長・垣添忠生 日本対がん協会会長）で選考し、9 月 1 日（日）に発表します。

勝手ながら、推薦の締め切りは、6 月 3 日（月）とさせていただきます。下記の書類を同封しましたので、よろしくお願いいたします。推薦書とともに、推薦の参考になる資料がありましたら添付してください。

なお、本件は合志（E-mail:goushi@jcancer.jp）が担当いたします。推薦書類は日本対がん協会のホームページ上 <http://www.jcancer.jp/archive/asahi/10download.html> からダウンロードしてご利用下さい。なお、推薦の際はハードコピーを合志あてご郵送下さい。

敬 具

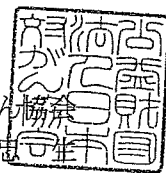
- ◇同封した資料
1. 「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」推薦の手引
 2. 推薦書用紙（協会賞個人の部、団体の部、朝日がん大賞の 3 種類）
 3. 過去の受賞者一覧



日がん発第 25011 号
2013(平成 25)年 4 月 19 日

日本医師会会長
横倉 義武 殿

公益財団法人 日本対がん協会
会 長 垣 添 忠 生



平成 25 年度「日本対がん協会賞」と「朝日がん大賞」候補推薦のお願い

拝 啓

春暖の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、日本対がん協会は毎年、がん征圧活動に功績のあった方々に「日本対がん協会賞」を贈ってその業績を称えてまいりました。これまで 45 回の歴史を重ね、受賞者は 210 人、119 団体になります。また、朝日新聞社の協力を得て 2001 年度に創設された「朝日がん大賞」は、第 1 回の大内憲明・東北大学大学院教授（国のマンモグラフィ検診導入に貢献）以来、第 12 回の静岡県立静岡がんセンター「がんよろず相談（相談支援センター）」（病院・研究所・疾病管理センターが一体となってがん患者や家族の支援に取り組む）まで、計 12 人、2 団体の方々が受賞されています（肩書きは受賞時）。

受賞者は、9 月 12、13 日に北海道札幌市で開かれる「がん征圧全国大会」で表彰いたします。

つきましては、貴管内でそれぞれの賞にふさわしい方々（個人・団体）がおられましたらご推薦いただきたく、お便りを差し上げました。ご多用のところ恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本対がん協会賞は、一次予防、二次予防を含め、がん征圧活動に永年の功績をあげられた医師、保健師、看護師、その他一般の個人・団体を対象といたします（受賞者には表彰盾と記念品を贈呈）。

朝日がん大賞は、「がん予防」全般を対象にしながら、がん医療・研究分野、画期的な医療機器の開発、患者・治癒者の活動も視野に入れた幅広いものとします。活動期間は問わず、第一線で活躍している個人・団体を対象とします（受賞者には表彰盾と副賞 100 万円を贈呈）。

両賞とも、各界のご推薦をもとに「日本対がん協会賞選考委員会」（委員長・垣添忠生 日本対がん協会会長）で選考し、9 月 1 日（日）に発表します。

勝手ながら、推薦の締め切りは、6 月 3 日（月）とさせていただきます。下記の書類を同封しましたので、よろしくお願いいたします。推薦書とともに、推薦の参考になる資料がありましたら添付してください。

なお、本件は合志（E-mail:goushi@jcancer.jp）が担当いたします。応募書類は日本対がん協会のホームページ上 <http://www.jcancer.jp/archive/asahi/10download.html> からダウンロードしてご利用下さい。なお、推薦の際はハードコピーを合志あてご郵送下さい。

敬 具

- ◇同封した資料
1. 「日本対がん協会賞」「朝日がん大賞」推薦の手引
 2. 推薦書用紙（協会賞個人の部、団体の部、朝日がん大賞の 3 種類）
 3. 過去の受賞者一覧

日本対がん協会賞・朝日がん大賞

推薦の手引き

公益財団法人 日本対がん協会

◇ 日本対がん協会賞

【趣旨】

対がん活動に顕著な功績のあった個人及び団体を顕彰して、がん征圧運動の一層の高揚を図ることを目的とする。

対がん活動とは、広くがん征圧のための運動、事業、研究を指すが、とくに「予防活動」の第一線で顕著な功績を上げた個人（団体）や、多年にわたって地道な活動を続けた個人（団体）に光をあてたい。

【推薦基準】

- ①「多年」とは、おおむね 10 年以上をいう。
- ②適正ながん知識の普及や啓発に対する功績。
- ③精度の高い各種がん検診の普及や推進に対する功績。
- ④奉仕活動や募金活動に対する功績。
- ⑤がんの早期発見および治療に関する調査・研究・開発での功績。

◇ 朝日がん大賞

【趣旨】

日本対がん協会賞の特別賞として、21 世紀（平成 13 年）から新設した。

対象分野は、日本対がん協会の活動の柱である「がん予防」全般とし、がん征圧に向けた実績をあげて社会に貢献し、なおかつ、第一線で活躍している個人・団体を選考する。将来性のある研究の発掘、医療機器類の研究・開発、患者・治癒者の活動やケアなどの分野も対象とする。

【推薦基準】

- ①検診法や検診機器で画期的な開発をしたり、挑戦したりしている個人や団体。
- ②将来期待できるがんの予防法や研究を手掛けている個人および団体。
- ③患者・治癒者の活動などでがん予防運動に顕著な貢献をしたり、育成したりしている個人や団体。

◇ 選考と表彰

- ①選考は、両賞とも「日本対がん協会賞選考委員会」で行なう。
- ②ともに年度賞とし、日本対がん協会賞は個人、団体各数件、朝日がん大賞は 1 件とする。
- ③表彰は、両賞とも毎年 9 月の「がん征圧全国大会」で行なう。
- ④日本対がん協会賞には、正賞（レリーフ）と副賞（記念品）
朝日がん大賞には、正賞（レリーフ）と副賞（100 万円）を贈る。
- ⑤選考委員会の事務局は、日本対がん協会に置く。

＝2001（平成 13）年 4 月決定

＝2010（平成 22）年 4 月、7 月改訂

＝2013（平成 25）年 3 月改訂